



緑風出版

徳島の吉野川に可動堰（ぜき）を造る計画は、なぜ中止されたか。有権者の約半数が、建設の是非を問う住民投票を求めて署名したが、市議会は条例案を否決。建設反対の著者らが選挙に出て、議会構成を逆転させる。が、公明党が「投票率が50%以上なければ開票しない」と条件を加えた案を提出。著者らは投票実現のため、それに乗る。公明党と犬猿の仲の共産党には、「上」から働きかけるリアリズムが印象的だ。投票率は55%、建設反対は90%を超えた。

著者による「希望を捨てない市民政治」の要点は（1）論理的で（2）マスコミとうまく付き合い（3）楽しくやること。運動のリーダーで、2010年に死去した姫野雅義さんと対話しながら書いたという。

（緑風出版・2100円）